

次の段階に入った愛西市の現状は

問 新たな統合庁舎の特徴、各庁舎の窓口業務、職員への対応は。

総務部長 統合庁舎は、市民の利用が多い部署を一階、二階に設置することで、施設内において極力移動なく利用可能にして、複数の課に関係する業務も市役所で完了できることが本庁方式の利点。また、各支所において支所職員のみで業務対応が難しい場合は、各部署において職員が出向くなどして対応していく。職員の対応については、親切・丁寧な対応を心がけるよう指導していきたい。

問 市の巡回バスを有料化すると現在の予算より倍以上の費用がかかると言われるが、実際にはどうか。

総務部長 平成25年度の試算見積りで、運行管理だけで1億3千600万円ほどの費用がかかり、100円の運賃で26年度の利用者数で計算すると、予想経費の1割程度の収入となる。しかし、高齢者などに特典を設けると、収入はさらに減少すること

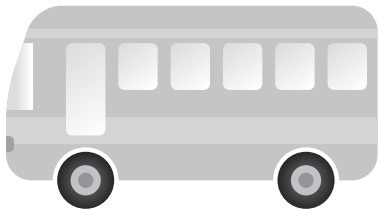


近藤 武 議員

が予想される。また、有料化にかかる整備の部分では、国土交通大臣への登録、緑ナンバー車両での運行、バス停や停留所という公共交通施設の整備、運行ルートの変更や地域公共交通会議の設置などの問題がある。有料化することにより、今まで以上に市の負担が増えてしまう。

問 補助金や使用料見直しは、なぜ今なのか。

企画部長 合併して11年が過ぎ、地方交付税の合併算定替えによる減額が28年度から5年かけて行われる。先を見据えた財政構造への転換を図る重要な時期であり、財政状況の変化に適應できる基盤を築き、行政サービスの構造的な改善に取り組んでいかなければならない。公共施設使用料については、それぞれ合併前のバラバラの料金体系や、補助金についても、いままで本格的な見直しできていない中、これからの持続可能な行財政運営とサービスの低下を招かないように、市民に理解、協力をお願いしたい。



総務部長 残る用地についても、県で検討されるものと考えている。



▲防災拠点が計画されている旧永和荘

消防団員の募集について

問 消防団員の募集が難しい状況にある。消防団員の対象者の名簿は市で提供されるか。町内役員への説明会はできないか。

消防長 入団可能な該当者は把握している。要望があれば説明会を実施する。

問 豊橋市では、消防団員は協力店で優待サービスが受けられる。愛西市でもできないか。

消防長 愛西市消防団応援事業所設置要綱を制定し、平成28年4月から運用する。